

学術集会いしかわ金沢大会開催内容変更に関しまして

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、学術集会開催方法と内容を一部変更致します。状況を鑑みながら、開催の是非、形式を模索していたことより、ご報告が遅れ、ご迷惑をおかけしましたことを、心からお詫び致します。

現在、「ピンチをチャンスに」の言葉を胸に、これまででない、新しい形の学術集会の可能性を探りながら、皆さまのご参加が意義あるものとなりますよう、日々準備をしているところです。

◎基本方針:「ハイブリッド型」方式の採用

基本はオンライン開催です。

状況が許せば、オンサイト(従来の集合型)もさらにオプションとして加えられるとご理解ください。

・オンラインの活用

感染症流行の状況に左右されない安定した学術集会開催を目的に、従来の多くのプログラムを、オンライン上で実施します。

・オンサイト(従来の集合型の方法)：

いしかわ金沢大会のテーマ「心をとりもどす～心を見つめるネットワーク形成へ」を実現すること、また、会員向けの緊急アンケートからも根強いご要望があることから、顔と顔がつながる集いの必要性を感じています。感染症流行の状況を考慮しながら、開催を予定しています。

◎オンラインの特徴を活かしたプログラム運用

これまでの学会では、発表を聞きたいと思っても、スケジュールの編成上、参加できるセッションが限られていたというご経験はなかったでしょうか。

・自分のスケジュールに合わせた視聴が可能に

11月28日、29日大会開催前、1週間程度、自由に各演題発表をご覧頂き、大会当日はライブでのディスカッションに参加頂ける運用を考えています。

オンライン上の「会議室」に自由に出入りして頂くことで、バーチャルですが、これまでの学会と同じような参加の体験をして頂けます。

また、その後は1週間程度、各演題でのディスカッションの模様を視聴できるようにする予定です。

・時間の制約、物理的な制約(会場への移動金銭的な制約(旅費、宿泊費の負担)がない

「オンライン開催」の特徴を最大限活かして、学術集会を堪能下さい。

◎感染症対策を考慮したオンサイト（従来の集合型の方法）開催

・ 出会うことで体験できる特別プログラムの実施：

実際に出会うことで得られるものの価値は、何にも代えがたいものがあります。出会うことでさらに深まるテーマの演題を実施します。

・ 実質本位の大会運営：

感染症の状況によっては急速キャンセルをせざるを得ないリスクがあります。学術集会の経費的な側面から、極力実質的な運営計画を立てざるを得ない状況です。見栄えのよい立て看板もなく、十分な会場運営も難しいかもしれませんが、現地スタッフを中心に手作り感のある集会として実施致します。おもてなしの心は十分に発揮したいと思っておりますが、実質本位の運営をご容赦下さい。

・ 参加登録の制限：

感染症対策の観点から、当日参加は原則受け付けません。1,000名程度の事前申込とさせていただきます。

◎プログラム

オンライン開催のプログラム(案 9月現在)

- ・大会企画シンポジウム 6企画
- ・教育講演等 4企画
- ・公募シンポジウム 51企画
- ・一般演題（口演 53演題 ポスター 37演題）

オンサイト（金沢会場）のプログラム（案 9月現在）

- ・特別講演 村瀬嘉代子先生、青木省三先生の対談
- ・海外招聘プログラム 北川恵先生、遠藤利彦先生、Anna Huber先生(ビデオ出演)
- ・特別企画プログラム 今 明秀先生、他
- ・大会企画シンポジウム 2企画
- ・特別企画 この人と語ろうセッション
- ・大会長企画:地域資源を知る(仮)など

注: ①Munro先生のプログラムは、今年度は実施できません。

②初めてのオンライン上での運用であり、詳細は随時詰めているところです。

また、感染症流行状況により急速オンサイトが開催できない事態も否めません。

恐縮ですが随時ホームページをご参照下さい。

③参加費は、オンライン、オンサイト共に同じです。変更はありません。